

本当に素晴らしい遺愛合唱 コンクールでした。

7月12日（金）遺愛アリーナで行われた校内合唱コンクールは本当に素晴らしいものでした。9:20から中学生、9:50から高校1年生、11時から高校2年生、昼をはさんで13:00から高校3年生が演奏しましたが、どのクラスも本当にレベルが高く、聴きごたえがあり、とても楽しませていただきました。開会式でも述べましたが、遺愛には様々な行事がありますが、私にとって一番幸せ感を感じられるのは、この合唱コンクールです。今年も初めから最後まで、美しい合唱を満喫し、とても幸せでした。生徒の皆さんに感謝です。

3人の審査員は、北洋資料館館長の西田正史先生（元北海道音楽教育研究会会長）、国立音楽大学でピアノ・声楽を学び、現在もゴスペルソング・プレイヤーとしてご活躍の本多依子先生、遺愛吹奏楽局コーチで、函館音楽協会会長、函館市文化団体協議会会長を歴任した宍戸雄一先生でした。西田先生・本多先生は、初めて遺愛の合唱コンクールにいらして下さいましたが、そのレベルの高さに驚いていました。また、宍戸先生は遺愛に関わって12年目になりますが、「年々レベルアップしてきて、今年も本当、素晴らしかった！！」とおっしゃってくれました。とても感謝です。

審査発表の前に、部活動関係の表彰が25件もありましたが、一つ一つの賞状授与の際に、あたたかい拍手を始めから終わりまでし続けてくれた遺愛生の皆さんを心からリスペクトします。このあたたかさが、各大会で頑張る遺愛生の活躍を引き出しているのだと思います。

審査結果は、中学がゴールド金賞2クラス、高1が4クラス、高2も4クラス、高3は6クラス全部がゴールド金賞でした。決して甘い審査ではなく、レベルが本当に高かったのです。ある生徒さんが言っていましたが、このまま上位クラスが、NHK学校音楽コンクールに参加しても十分勝負ができるとのことでした。

2019年7月16日(火)



中1合唱



高3合唱



部活表彰式の様子